

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定 番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容（ha） ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容
					①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
143	綾野 翔悟	高松市	露地野菜：66a	ミニトマト、オクラ、 ほうれん草、スイート コーン、里芋〔 0 ⇒ 0.75 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
144	石垣 昌邦	高松市	水稲、果樹：1.8ha	水稲〔 1.6 ⇒ 1.8 〕	① 稲わら・もみ殻のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
145	牛熊 圭介	高松市	水稲：33a	水稲〔 0.33 ⇒ 0.5 〕	① 米ぬかの施用、緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
146	河西園 代表者 河西 直子	高松市	露地野菜：10a	ミニトマト、たまねぎ、 キャベツ、白菜、 ブロッコリー等〔 0.083 ⇒ 0.18 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や対抗植物の利用、マルチ栽培により化学肥料・化学農薬を使用しない
147	崎野 隆行	高松市	露地野菜：8.5ha	ブロッコリー〔 5 ⇒ 5 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
148	菅原 孝治	高松市	施設野菜、水稲：98.8a	ミニトマト、水稲〔 0.988 ⇒ 2.149 〕	① 有機質資材の施用や緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の使用や天敵農薬、光利用技術等により化学肥料・化学農薬を使用しない 〔有機JAS認証取得〕 ② ヒートポンプや保温資材の設置により燃油使用量を低減し、温室効果ガスの排出量を削減
149	福家 恭平	高松市	露地野菜：60a	スイートコーン、ブ ロッコリー、ニンニク〔 0 ⇒ 1.16 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
150	本田 康人	高松市	露地野菜、果樹：40a	ニンジン、レタス、 キュウリ、サトイモ、 ブルーベリー、レモン 等〔 0.4 ⇒ 0.4 〕	① 緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用やマルチ栽培、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
151	松下 和正	高松市	露地野菜、果樹：1.89ha	ブドウ〔 0.29 ⇒ 0.29 〕	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
152	山下 卓也	高松市	露地野菜、施設野菜：149a	ズッキーニ、ラディッ シュ、ジャガイモ、ニ ンジン、サツマイモ、 タマネギ、ナス、カ ブ、サトイモ、ネギ、 ホウレンソウ、マンパ 等〔 1.49 ⇒ 1.49 〕	① 緑肥や牛ふん堆肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の使用により化学肥料・化学農薬を使用しない
153	湯谷 芳章	高松市	果樹：0.1ha	スイートレモネード〔 0.1 ⇒ 0.2 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
154	氏家 弘貴	丸亀市	施設野菜：12a	アスパラガス〔 0.12 ⇒ 0.2 〕	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
155	豊田 宇彦	丸亀市	水稲、麦：14.0ha	水稲、麦〔 9.5 ⇒ 14 〕	② 麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
156	農事組合法人法の郷 代表理事 黒川 威	丸亀市	水稲、麦、露地野菜：23.95ha	水稲〔 0 ⇒ 11.88 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定 番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容 (ha) ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容
					①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
157	宮川 諒信	丸亀市	水稻、麦、露地野菜：2.5ha	水稻 [0 ⇒ 2]	③ 水稻栽培における排水口のネット設置によるプラスチック資材の排出抑制
158	よしむら農園 代表 吉村 一成	丸亀市	露地野菜：270a	コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、ミニチンゲンサイ、レタス等 [2.7 ⇒ 2.7]	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や被覆栽培、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない〔有機JAS認証取得〕
159	小泉 真理	坂出市	果樹：1.4ha	璃の香 [0 ⇒ 0.1]	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
160	社会福祉法人楽笑福祉会 理事長 山条 真嗣	坂出市	露地野菜：2.0a	たまねぎ、じゃがいも [0.02 ⇒ 0.026]	① 堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や被覆栽培、マルチ栽培により化学肥料・化学農薬を使用しない
161	片長 明	善通寺市	水稻、麦、施設野菜：3.13ha	水稻、麦 [1.5 ⇒ 3]	② 水稻栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
162	新田 守	善通寺市	主食用稲、WCS用稲、飼料作物：3.63ha 繁殖牛：16頭	水稻（WCS用稲） [1.3 ⇒ 1.3]	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や温湯種子消毒による化学肥料・化学農薬の使用低減
163	株式会社福田農園 代表取締役 福田 光男	善通寺市	水稻、麦：13ha	水稻 [0 ⇒ 5]	② 水稻栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
164	石川 龍二	観音寺市	施設野菜：26a	いちご [0.135 ⇒ 0.26]	② さぬきファーマーズステーションや保温資材の設置により燃油使用量を低減し、温室効果ガスの排出量を削減
165	宇都宮 真衣	観音寺市	施設野菜、露地野菜：69a	アスパラガス、なばな、にんにく、トマト・ミニトマト等 [0 ⇒ 0.69]	① 土壌診断に基づく堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草、生物農薬の利用による化学肥料や化学農薬の使用削減
166	久保 浩文	観音寺市	水稻、露地野菜、果樹：380a	水稻 [0 ⇒ 1.3]	② 水稻栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
167	田中 壱斉	観音寺市	露地野菜、水稻：18ha	レタス [0 ⇒ 3.5]	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
168	小島 数弘	東かがわ市	水稻、露地野菜、特用作物：220a	水稻 [0 ⇒ 1.6]	② 水稻栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
169	定住 英樹	東かがわ市	水稻：3.5ha	水稻 [2.5 ⇒ 3]	① コーン堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の使用や生物農薬の利用、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
170	株式会社GRプラント 代表取締役社長 有馬 康高	東かがわ市	露地野菜：3.55ha	青ネギ [0 ⇒ 3.45]	① コーン堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の使用やマルチ栽培、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
171	小路 憲一	東かがわ市	水稻、麦、露地野菜：2040a	水稻、麦 [8 ⇒ 20]	② 水稻栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
172	藤原 春樹	東かがわ市	水稻：1.2ha	水稻 [1.2 ⇒ 1.5]	① コーン堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の利用、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定 番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容（ha） ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容
					①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
173	前山 慎二	東かがわ市	水稲：1.7ha	水稲〔 1.7 ⇒ 1.7 〕	① コーン堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の利用、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
174	間嶋 亨	東かがわ市	水稲：4.2ha	水稲〔 3.8 ⇒ 3.8 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の利用、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
175	森永 孝明	東かがわ市	水稲：1.3ha	水稲〔 1.3 ⇒ 1.5 〕	① コーン堆肥の施用による土づくりと、有機質肥料の施用や生物農薬の利用、機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
176	豊穰・岡原正農園 代表 岡田 達典	三豊市	水稲、麦、露地野菜：80a	水稲〔 0.5 ⇒ 0.6 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
177	小塚 智史	三豊市	果樹、水稲、露地野菜：1.22ha	栗、水稲、人参、レモン〔 1.22 ⇒ 1.22 〕	① 緑肥のすき込みによる土づくりと有機物の施用や太陽熱消毒、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
178	密石 眞治	三豊市	水稲、露地野菜：1.7ha	水稲〔 0 ⇒ 1.2 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
179	株式会社ブルームファーム 代表取締役 山田 典章	小豆島町	果樹：231a	オリーブ〔 2.31 ⇒ 2.31 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、鶏ふんの施用や生物農薬の利用により化学肥料・化学農薬を使用しない 〔有機JAS認証取得〕
180	山田 典章	小豆島町	果樹：100a	オリーブ〔 1 ⇒ 1 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、鶏ふんの施用や生物農薬の利用により化学肥料・化学農薬を使用しない 〔有機JAS認証取得〕
181	小林 佳彦	三木町	水稲：78a	水稲〔 0.78 ⇒ 0.78 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、有機質肥料の使用や機械除草等により化学肥料・化学農薬を使用しない
182	高木 優作	三木町	露地野菜：120a	オクラ、ナス、ズッキーニ、小松菜、キュウリ〔 0.7 ⇒ 0.75 〕	① 緑肥のすき込みによる土づくりと、鶏ふんの施用や生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
183	多田 憲充	三木町	露地野菜、施設野菜：32a	キュウリ、アスパラガス、ピーマン、キクナ、小松菜、ほうれんそう〔 0.3 ⇒ 0.3 〕	③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
184	寺尾 和俊	三木町	水稲：1.6ha	水稲〔 1.6 ⇒ 2 〕	① もみ殻くん炭の施用や緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や温湯種子消毒、機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
185	脇 寿則	三木町	水稲、麦：6ha	水稲〔 0 ⇒ 3 〕	① 稲わらのすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や温湯種子消毒による化学肥料・化学農薬の使用低減
186	木村 和史	宇多津町	果樹：28a	シャインマスカット〔 0 ⇒ 0.28 〕	① 牛ふん堆肥などの施用による土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草による化学肥料・化学農薬の使用低減
187	農事組合法人綾川ファーム 代表理事 宮本 清信	綾川町	水稲、麦：22ha	水稲〔 5 ⇒ 15 〕	① 稲わら・麦わらのすき込みによる土づくりと、局所施肥・肥効調節型肥料の使用や機械除草、生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
188	大前 勝功	綾川町	水稲、施設野菜：80a	水稲、アスパラガス〔 0.3 ⇒ 0.9 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制

香川県環境負荷低減事業実施計画認定者の取組概要

認定 番号	氏名	市町名	経営概要	活動内容（ha） ※ □ 内のうち、左は現状面積、右は目標面積を示す	取組内容
					①：第1号認定（土づくりと化学肥料・化学農薬使用低減の取組） ②：第2号認定（温室効果ガス排出削減の取組） ③：第3号認定（プラスチックの排出抑制等、農林水産大臣が定める取組）
189	金滝 耕治	綾川町	露地野菜、施設野菜：1.2ha	ブロッコリー、アスパラガス〔 0.1 ⇒ 1.2 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
190	農事組合法人猿王宮農組合 代表理事 滝川 廣男	綾川町	水稲、麦、施設野菜：14.04ha	水稲〔 0 ⇒ 5.3 〕	① 稲わら・麦わらのすき込みによる土づくりと、局所施肥・肥効調節型肥料の使用や機械除草、生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
191	高嶋 健一	綾川町	水稲、果樹：80a	水稲、ぶどう〔 0 ⇒ 0.8 〕	① 牛ふん堆肥の施用による土づくりと、肥効調節型肥料・有機質肥料の施用や機械除草等による化学肥料・化学農薬の使用低減
192	西谷 秀隆	綾川町	水稲、施設野菜、露地野菜：41a	水稲、アスパラガス〔 0.35 ⇒ 0.41 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
193	農事組合法人羽床上ファーム 代表理事 畠岡 敬男	綾川町	水稲、麦：14.2ha	水稲〔 0 ⇒ 8 〕	① 稲わら・麦わらのすき込みによる土づくりと、局所施肥・肥効調節型肥料の使用や機械除草、生物農薬の利用による化学肥料・化学農薬の使用低減
194	農事組合法人向原ファーム 代表理事 福家 重夫	綾川町	水稲、麦、特用作物：14.88ha	水稲、小麦〔 7.64 ⇒ 14.24 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
195	横峰 琢磨	綾川町	水稲、麦、施設野菜：583a	水稲、アスパラガス〔 2.83 ⇒ 2.83 〕	① 有機質資材の施用による土づくりと、有機質肥料の使用や機械除草による化学肥料や化学農薬の使用削減 ③ 中長期耐久性フィルムの利用によるプラスチック資材の排出抑制
196	早馬 俊行	多度津町	水稲、露地野菜：59a	水稲、かんしょ〔 0 ⇒ 0.48 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
197	森 香文	多度津町	水稲、麦、露地野菜：7.5ha	麦〔 3 ⇒ 3 〕	② 麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
198	氏家 敏一	まんのう町	水稲、麦：6.5ha	はだか麦〔 6 ⇒ 6 〕	② 麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
199	薄木 数行	まんのう町	水稲、露地野菜：6.5ha	ブロッコリー〔 4 ⇒ 5 〕	③ 生分解性マルチフィルムを使用した栽培によるプラスチック資材の排出抑制
200	大平 浩史	まんのう町	水稲、麦：44ha	麦、水稲〔 44 ⇒ 44 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減
201	河田 知彦	まんのう町	露地野菜：9.97a	水稲、大豆、ナス、オクラ、ピーマン、シシトウ、トウガラシ、キュウリ、トマト、ゴーヤ、カボチャ、サツマイモ、ジャガイモ、ハウレンソウ等〔 0.1 ⇒ 0.7 〕	① 緑肥のすき込みによる土づくりと、有機質肥料の施用や機械除草により化学肥料・化学農薬を使用しない
202	株式会社藤井農園 代表取締役 藤井 隆	まんのう町	水稲、麦：25ha	水稲、小麦〔 29 ⇒ 29 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制
203	渡邊 壽孝	まんのう町	水稲、麦：30ha	水稲、小麦〔 35 ⇒ 40 〕	② 水稲栽培における中干期間の延長、稲わら・麦わらのほ場へのすき込みによる温室効果ガスの排出量の削減 ③ プラスチックを使用しない肥料の利用によるプラスチック資材の排出抑制